

松下悦子 ソプラノリサイタル

暁の星

男はこの時始めて気がついた。
「百年はもうきていたんだな」



松下悦子〔ソプラノ〕

同志社女子大学音楽学科声楽専攻卒業後、ドイツ・カールスルーエ音楽大学大学院声楽学科を修了する。在独中、ヘルムート・リリングのもとでオラトリオ、カンタータなどの演奏、録音に参加する。帰国後、歌曲、オラトリオ、教会音楽を中心に幅広く活躍。定期的に行っているリサイタルでは、企画性の高いプログラミングと歌唱力が高く評価され、大阪文化祭本賞（1996）、音楽クリティック・クラブ奨励賞（2000）、藤堂音楽賞（2002）などを受賞。

第3回J.S.G日本シューベルト協会国際歌曲コンクール第2位及び聴衆審査特別賞（1991）、第39回オランダ・セルトゲンボス国際声楽コンクール歌曲部門第3位（1位なし）及びオランダ音楽賞（1992）、第63回日本音楽コンクール声楽部門第2位及び松下賞（1994）などを受賞している。

音楽CD出版では、N&F社のmolt fineから今までにない斬新な企画の近代ドイツ歌曲集「ein Tag めぐる時めぐる思い」（2008）や、ナミ・レコード社ライヴノーツからは「木下牧子歌曲集 太陽は空の中心にかかる」（2017）をリリースし、好評発売中である。

現在、同志社女子大学教授。日本シューベルト協会理事。



久保千尋〔ピアノ〕

京都市立芸術大学を首席で卒業。東京藝術大学大学院を修了。

大学院在籍中に渡独。ハンブルグ音楽演劇大学Diplom、Konzertexamen両課程を、それぞれ最優秀の成績で修了。国家演奏家資格取得。更にウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。

シューベルト国際音楽コンクール（ドルトムント）を始めとする国内外のコンクールにて上位入賞を果たす他、ヘルマン・エーベル賞、松方音楽賞等様々な音楽賞を受賞。日本のみならず、ハンブルグ、ウィーン、パリ、リスボン等、ヨーロッパ各地でのソロリサイタルの他、数多くの室内楽のコンサートに出演、共演者からの信頼も厚い。

またソリストとして、ハンブルグ交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、広島交響楽団等と共演。

公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。

平成28年度下関市芸術文化振興奨励賞受賞。

ハンブルグ音楽演劇大学ピアノ科講師を経て、現在エリザベト音楽大学准教授。



京都府民ホール・アルティ

京都市上京区烏丸今出川下る

- 地下鉄烏丸線「今出川駅」下車、6番出口を南へ徒歩5分
- 御所の駐車場をご利用下さい。